

スイス日本語福音キリスト教会

<http://www.jeg.ch.vu>

ニューズレター 61号

2006年8月20日発行

第23回 ヨーロッパ キリスト者の集い特集



私はこう確信しています。死も、いのちも、み使いも、権威ある者も、今あるものも、後に来るものも、力ある者も、高さも、深さも、そのほかの被造物も、私たちの主キリスト、イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできません。

ローマ 8-38. 39

Ich bin ganz sicher, daß uns nichts von seiner Liebe trennen kann: weder Tod noch Leben, weder Engel noch Dämonen, noch andere gottfeindlicher Mächte, weder Gegenwärtiges noch Zukünftiges, weder Himmel noch

Hölle. Nichts in der ganzen Welt kann uns jemals trennen von der Liebe Gottes, die uns verbürgt ist in Jesus Christus, unserem Herrn.

Römer 8-38,39

尊い主の御名を賛美します。

(1) スイス日本語福音キリスト教会が一年半前から準備を重ねてきた「第23回ヨーロッパキリスト者の集い」は中央スイスエメッテンの地に、欧州各地、日本そして米国から300名を越えるキリスト者を集め、8月6日、主の溢れる恵みと臨在のうちに終わりました。主が私たちスイスの小さい者たちをも用いて下さったことを心から感謝し、全ての栄光を主にお返ししたいと思います。

今回、私たちスイスの群れは、
「第23回ヨーロッパキリスト者の集い」を主催する光栄に与りました。そして、私たちは、
「この戦いはあなたがたの戦いではなく、神の戦いである。・・・あなたがたの神を信じ、勝利を得なさい。」
(暦代Ⅱ 20:15, 20)
のみことばに励まされて準備してまいりました。そして、主は「集い」においてご自身の勝利を示し、栄光を現して下さいました。
このホームページが恵みを思い返すよすがとして、また「集い」に参加出来なかった方々にも恵みを分かち合うために用いられることを願い、祈っています。
(JEG ホームページ 8月11日 田辺正隆牧師より)



- 期間中の全ての礼拝ならびに講演の録音は JegのHP <http://www.jeg.ch.vu> で9月末日まで聞く事ができます。
- また、スナップ写真は<http://photos.yahoo.co.jp/obiokononiyaki> でご覧になれるほか、プリントしたり、スライドショーを自由にお楽しみいただけます。
- 森祐里姉のHPのなかのリリースダイアリーにも掲載されていますのでご覧になってください。
<http://www.moriyuri.com/yuri/home.php?no=diary>

(2) ウルスシークリスト兄の弟、ペアト君が13日(日)ベルンにて洗礼を受けられました。スイス教会からは脇山兄姉が洗礼式に出席していただきました。主とともに生きることを決心されたペアト君に祝福が豊かにありますようにお祈りします。



(3) 7月のメアスブルグ集会にはマイナウ島で結婚式を終えたばかりのカップル(岡本さんご夫妻)がウエディングドレスとタキシードのまま、船でポーデン湖を渡ってきて、家庭集会に参加してくださいました。田辺先生もお二人の結婚を祝い、まるで司式を行なった牧師となり、会食は披露宴になりました。日本から旅行中に立ち寄ってくださった玉置さん夫妻も初めての参加。田辺先生からメッセージは、2組のカップルの人生にとって、貴重な道標になったことでしょうか。さらに、宮崎で開拓伝道中のローゼンクランツ直美さん、クリスチャンも参加してください、力強いお祈りをして私たち一同を励ましてくださいました。直美さん、クリスチャンの宮崎でのこれまでのお働きに感謝するとともに、集会が教会へとそして地域のリバイバルへと発展しますように、信じ祈りました。また経済的な面でも主が支えてくださいますように。

これからも、Meerburgの集会を通して福音がより多くの方に伝えられますようにまた、集う友が一日も早くイエスを信じて受け入れる日が来ますよう、皆さまのお祈りに加えてくだされば幸いです。

(4) 13日(日)の礼拝では中村守師(原しのぶ姉の母教会元牧師、春日井福音自由教会)がローマ人への手紙4:1~5から「不敬虔な者を義と認める神」のテーマで、14日(日)のメアスブルク集会でみことばを取り次いでくださいました。ご家族は8月20日に帰国されました。感謝!



小さな証



け、しばらく動けなくなりました。

昨年の修養会の最終夜、次年度スイス修養会のお知らせで「アルプスの少女ハイジ」のアニメが流れた時、私は会場の席で一人で泣いておりました。

私の父は、ハイジの背景画を描く仕事をしておりハイジの放映後、数年して脳溢血のため急逝したのです。亡くなって何年も経つのに、父の絵が今も使われていることが嬉しくもあり、父が生きているかのようで切なくなりました。会場であるアニメを見て泣き続

けて、しばらく動けなくなりました。 どうして父が急死しなければならなかったのか、長い間、神様に問い続けました。父がいなかったために私の家は大変苦勞し、幸福とはいえない子供時代を送ってきました。ことあるごとに周りの人から片親だと悪く言われ、学びたい気持ちがあっても、進学を許されない状況でした。いつも父がいてくれればと何度も思い続けました。

ところが修養会の会場に着いた時、ここで何かがあると予感がしました。何か神様が教えてくださる気がし、父に会えるような気もしたのです。神様が私に働かれたのは、土曜日の午後でした。森さんのコンサートで、森さんは弟さんを亡くした悲しみもう一人の弟さんが救われたことを証されました。心に穴が空いたところに、人の痛みや優しさが入ってきたと森さんは言われました。

私はその証と森さんの歌を通して、長いこと、父を亡くしたことで神様を問うようなことをしたり、時にはうらむようなことを言ったりしてきたのですが、このために父が亡くなったのだ、とはっきり分かりました。父が亡くなることで、母は離れていた教会に戻され弟も私も救われたのです。父が命を投げ出したことで父は我が家の一粒の麦となったのです。父の死がなければ、私は神様を知らない人生を歩んでいたのです。

もし父が生きていたら、私はそこそこの学校を卒業し親の勤める会社に勤めて、自分の意志を強く持たない平凡な人生を歩んでいたと思います。父を亡くしたからこそ、私は自分の願いを強く持ち、神様の奇跡で進学でき、しかも留学まででき、研究者としての道へと歩み出せたのだと知りました。



森さんのコンサートの後、一人になりたくて会場の外で公園のベンチに座っていました。公園の小屋もベンチも、まさにハイジに出てくるような作りでした。座って祈っていると、私には聞こえました、「お前、大人になったな」 父の声でした。

今思うと、あまりに曖昧な記憶で、それが父だったのかどうか分かりません。でも確かにそのベンチの隣りに人の気配がしました。父の声はやがて「もう行きなさい」と私には聞こえました。時計を見るともう食事の時間が過ぎていました。

それから、そのことがあったこと、お話できたのは、本当に特別な方だけです。今も信じられません。その後、私はもう父の死について恨むことをしなくなりました。あの年齢が父の与えられた命だったのです。そして私と家族が神様に会うために用意された道だったのです。やっとわかりました。

。

私の人生で大事なひとときとなりました。
この大きな修養会を用意して下さった神様に、
そして準備して下さった準備委員の方々に
アルプスの少女ハイジを使って下さった方々に
心から感謝します。ありがとうございました。



オックスフォード 岡田理香

(5) 来年度、ミラノで持たれるヨーロッパ キリスト者の集いは、2007年8月2日(金)から5日(日)までと決定いたしました。詳しくは添付ファイルをご覧ください。私たちの長いようで短かった準備期間を振り返るとき、ヨーロッパ各地の教会や集会の励ましや祈りにどれほど勇気づけられたことでしょうか。私たちも積極的にミラノの若い群れを支援していきたいと思っております。

(6) 本日(20日)フィンランド聖書の会の平崎日女(ひめ)姉より嬉しいメールが入りました。

”2009年キリスト者の集い”開催地の件ですが、本日みなで、それぞれ祈りの結果与えられた御言葉をもちより話し合っ、フィンランドでお引き受けすることにいたしました。また、人数が少ないことも懸念ではありましたが

東京は聖書を読む会の増井 リツ姉から

ご自身の大きな祝福を注いで下さった神様に感謝します。そして、主に喜ばれる集いになるようにと、労してこられたスイス日本語福音キリスト教会の皆様にも主の豊かな祝福とかえりみがありますようにお祈りいたします。すばらしい修養会でした！



東京は小金井の芳賀正牧師から

エメテンでの素晴らしいキリスト者の集いを終え、大役を果たされ皆様さぞ疲れが出たのではありませんか。この度はスイスにお招きをいただき私達は本当に感謝しています。皆様の背後の御労によって素晴らしい集いとなりました。心から皆様に感謝いたしています。小さなものもそのお仲間に加えていただけたこと感謝しています。主が確かに働いてくださっていたことを感じました。有難うございます。主の豊かなお報いがお一人お一人のかたがたの上にありますようにお祈りいたします。コリント人への第一の手紙 15:58

5年続けてヨーロッパに行きことが出来、沢山のお恵みをいただきました。集では、スイスの方々初め、ドイツのフランクフルト、ダルムシュタット、など昨年親しくさせて頂いた皆さんにもお会い出来本当に感謝です。またあちこちの日本人集会で沢山の方々にもお会いしていましたので、再会が出来、嬉しかったです。

私達は、秋には、気仙沼、長野の伊那等にも行くことになっています。お祈りのうちに覚えていただけると感謝です。また来年もヨーロッパの教会でのご奉仕が入ってきそうです。是非主の御心になるようにお祈りください。

長々と書いてしまい申し訳ありません。スイスの教会の皆様にもくれぐれも宜しくお伝えください。主の豊かな御祝福を心よりお祈り申し上げます。

東京は森姉から

ハレルヤ！主の御名を心より賛美致します。

この度は、ヨーロッパでの素晴らしい恵みの時をありがとうございました。昨夜、2週間の旅を終え、無事日本に帰国致しました。

「第23回ヨーロッパキリスト者の集い」は、今も感動が心に満ちていて、感謝があふれて参ります。2年前、リュネブルグで松林さんに「2年後のスイスに来て賛美して下さい」と誘っていただいてから、随分とどうすべきか祈りましたが、本当に主のお導きにより来させて頂いて良かったです！思いをはるかに超えて恵みを頂くことのできた、すばらしい修養会でした。ヨーロッパ、日本各地から主にあるキリスト者が一堂に集われ、共に賛美し、御言葉に養われ、交わり、祈り、全世界に福音の火が燃やされていることを目の当たりにできた時でした。

多くの出会い、メッセージと共に、このような特別な会で、コンサートの機会が与えられたことは、本当に感謝してもしつけない思いです。音響や伴奏等どうなるのだろうと心配もありましたが、主はすべてを最善に変えて下さり、大いなる臨在と喜びにあふれた時として下さいましたこと、ただただ感謝でした。



ヨーロッパの日本語教(集)会から

フィンランドはヘルシンキ聖書の会 平崎日女姉より

私たちがこうして恵み深い楽しいときを過ごさせていただけたのは、皆様の入念な準備と熱心お働きによるものです。今回はとくに、メールによって各教会の末端まで情報がいきわたり、映像を使って各地を紹介し、と参加者の交流がより活発になったように思います。

英国はロンドンJCFのヘルスピー明美姉より

特に太郎が大きな恵をいただきました。最初10人部屋と言う部屋を与えられ、不満たらたりましたが全てのプログラムが終了した後”僕は10人部屋で本当に良かったよ”とそれは恵まれた日々だった様子を離してくれました。普段引込み思案で今年もぼつねんとしているようであるなら来年は一緒に参加させまいと思っただけに神様が本当にこの子を愛していてくださる事を実感せずにはいれませんでした。



昨日ドイツより帰ってきましたが 車の中で自分からお祈りしようと言い出し10人部屋であったことを感謝する旨とそこでお友達になったそれぞれの今後の祝福をお祈りしていました。田辺先生の息子さんにもかわいがっていただいたようで 毎日その様子を話してくれます。ハレルヤ！
全ての事を主に感謝すると共にスイスの皆さんに感謝しています。ありがとうございました。一言お礼まで。

オランダはアムステルダムデボア・カールJCFN 牧師



主を高く崇め、賛美致します。

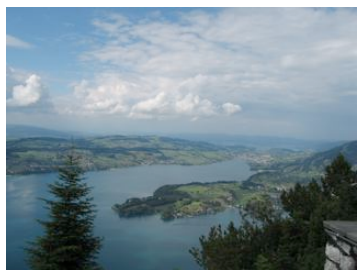
スイス教会の皆様にご心から感謝を申し上げます。皆様は私たちを暖かく迎え、全てに置いて私たちに仕える心を実際の奉仕と行動を通して見せてくださり、本当に感謝致します。皆様の主への愛と私たちへの愛も忘れません。ありがとうございます御座いました。その上に主の祝福があり、主が日曜日の礼拝の中で御業をなさったと信じます。

私自身は何人と一緒にお祈りをさせて頂き、その中でお二人の方は初めて、イエス・キリストを救い主と主として信じ受け入れました。私にとって、ヨーロッパキリスト者の集いがテーマの通り、実際に勝利の礼拝に終わりました。

これからも主御自身がスイス教会の皆様のお疲れを癒し、そして、益々教会の皆様を御栄光と人の救いのために用いられますように祈ります。感謝を込めて、

ドイツはフランクフルトの中村眷二兄京子姉から

本当に素晴らしい”集い”でした。感謝します。これもスイスの皆様の祈りと周到な御尽力の賜物と存じます。本当にお疲れ様でした。お蔭様で私達は1年間のエネルギーを蓄えてもらったような気が致します。来年のミラノでの”集い”のために私たちも祈り続けて参ります。





ベルギーはブルッセルの伊藤兄から

本当に多くの神様の恵みを受けることができました。本当に多くの兄弟姉妹にお会いして、神様のすばらしさを見ることができました。私にとってはこの大会が神様の証しを見せていただいた素晴らしい時でした。

英国はロンドンJCFの盛永進牧師から

先ほど、無事に帰宅しました。溢れる恵みを携えての帰宅しました。全てのことについて心から感謝します。本当に
本当に心から感謝します。集いのための準備、集いの開催期間中の働き、そして、これからの締めくくりの作業、どれをとっても大変な働きであることを思います。主の祝福を支えをひたすらに祈ります。

特に、身に余るお言葉を頂き、その上、松林幸二郎兄の素晴らしい作品を頂きながら、一言も、お礼の言葉を申し上げなかったことを、誠に恥ずかしく思います。過分な栄誉を頂き、驚いたり、恥ずかしく思ったり、喜んだり、最後まで言葉を失っていました。これからも言葉を失い続けることでしょう。

ただ、あの時、皆さんの励ましの言葉の中に、私は、主のお声を聞いたように思いました。お前は、思っていること、信じていることを、恐れずに語れ、と。だから恐れずに語ることができました。いや語らせて頂きました。語った後、私の心には、不思議な平安が宿りました。いつもは、説教の後、言い足りなかったことや、言い過ぎたことなど、色々と気になります。反省も後悔もします。しかし、先日は、そんな思いはなく、反省や後悔もなく、心は実に平安でした。今は、何を語ったんだろうか思い、また語ったという実感すらありません。ただ平安があるだけです。全ての言葉が上から与えられたからでしょう。このようなことは、牧師になって初めての経験でした。皆様の熱心に心から感謝しました主の御名を賛美します。また疲れたお体が一日も早く癒されるよう祈ります。> 主にありて、



フランクフルトのクロイツァー 恩子姉から

両親も昨日、日本に向けて帰国しました。すばらしい開催地の中で、本当に恵みを受けた修養会であったと両親は感激をしていました。神様に守られ、両親が参加ができたことを心から感謝し、そしていろいろお手数をおかけしました、今回は家族水入らずに、共に時間を過ごすこともでき、父の70歳の誕生日に素敵なプレゼントを贈ることができました。娘が大きくなりましたら、ヨーロッパ修養会に参加したいと思います。

またお目にかかれる日を楽しみにしております。

ルクセンブルグは安岡めぐみ姉から

とても素晴らしい集いでした。あの場に居られたことは、本当に神様の恵みです。感謝でいっぱいです。またお会いできますことを楽しみにしています。ホームページも近いうちに見に行こうと思います。本当にありがとうございました。

ドイツはハンブルグの 工藤篤子姉より

幾人かのスイスの兄弟姉妹とは、心慰められるお交わりもさせていただき、祈っていただき、ほんとうに感謝に耐えません。どうぞ、スイス集会の皆様に、くれぐれもよろしくお伝えください。
すべての上に、主の祝福がありますことを、心よりお祈りしています。



英国はロンドンの小川洋牧師から

ご丁寧なご挨拶を心から感謝申し上げます。これまでに4回の修養会に参加いたしましたが、個人的に、スイスはとりわけ印象深いものとなりました。ご労苦に主が報いてくださいますようにお祈りいたします。

これからは、スイスの日本語教会のことをもっともっと具体的に思い浮かべてお祈りすることができます。愛する皆様に今すぐにでも戻ってお会いしたい気持ちで一杯です。教会の皆様によりしくお伝えください。いつか、もっと深い交わりが与えられますように主に願ひ祈ります。感謝しつつ

ベルギーはブリュッセル日本語プロテスタント教会 岡田直丈牧師から

主に導き守られた本当に素晴らしい修養会だったと思います。オプショナルツアーの日に晴天に恵まれたことも生ける主のお恵みであったと思います。田辺先生御夫妻とスイス教会の皆様との主に在るお交わりに心より感謝しております。来年ミラノでお目にかかる日を楽しみにしております。

スイス教会の皆様の上に主の御祝福をお祈りしております。

英国はロンドンJCFのメトカフ先生から

Thank you for your kind words of thanks We too were blessed by God through the "Shuyokai" We will treasure in our memories, the beautiful view from our window in the Seeblick Hotel! Thankyou so much for the photos. I discovered that my little camera's battery had gone flat and was unable to take any pictures. If you have a photo of the view from the hotel or the top of the hill I would be delighted if you could send me one. Your's gratefully in Christ Stephen and Evelyn Metcalf.



ベルギーはブリュッセル教会の中山兄から

先週は、ブリュッセル教会7人で修養会に出席し、毎日礼拝、祈り、賛美、お交わりができとても恵まれたものでした私は初めての出席、しかもカトリック信者です、こんなに恵み深い集いを体験したことはありませんでした

松林さんのリトグラフ画集「アッペンツェラーランド」をひも解いてスイスの清浄な風景を思い出しています

お書きになった「異国巡歴」を読ませていただきました私が25歳で日本を出発した時の心境に似た何かがあって、共感するところが多くあります今回の修養会は

改めて私の信仰を振り返りあたらしい目が広かれた機会となりました

またヨーロッパ各地・日本から、こんなに多くのキリストにある兄弟・姉妹が集まったのは本当に素晴らしいことです。

ドイツはシュトゥットガルトの 佐々木千恵子から

*スイス ヨーロッパキリスト者の集い*心より 感謝いたします。

本当に 本当に 涙 涙の感動でした。想像もつかないくらいたくさん準備があったこととおもいます。

神さまが たくさん何倍にもして 祝福してくださる事心より お祈りさせていただきます。

チェコはブラハの川副 真生兄から

田中兄には特に帰り長い道のりを空港まで送っていただき、また少しお話しすることもできてとても励まされました。本当に主の愛を感じました。家族みんなとても助かりました。くれぐれも宜しくお伝えください。今回は、家族が嘔吐・下痢の菌にやられて、フル参加できませんでしたが、多くの恵みと励ましを受けました。スイス教会の皆さんが与えられた賜物を精一杯いかし、一体となって仕えておられた姿に感銘を受けました。プラハでもまだまだ小さい群れですが、主が整えてくださるようにお祈りして行きたいと思います。来年のイタリアでもお会いできるのを祈りつつ楽しみにしています。



ドイツは北ドイツJCFの悦子Poeschke姉から

本当にご苦労さまでした。神様の恵みが一人一人にもっと行き渡ったと思います。素晴らしい集会でした。スイス集会の皆様にも心から感謝です。今回は2週間の旅の間に色々な思ってもいなかった経験も、人との出会いもありました。神様が与えて下さった素晴らしい夏の休暇でした。

英国はジャパクリスチャンリングの恵子・Holmes (ホームズ) 姉から

私たちも感謝に満ちて帰英いたしました。またAgapeの集まりも設けてくださいます本当に感謝しています。アガペのtalkの前の晩、夕食のとき、韓国の男性の方と一緒にになりました。その方は、日本は和解の機会を失った、もう希望は無い、とおっしゃいました。次の日、私の証に参加してくれました。台湾の方も来てくれました。私の証の後で、韓国の方が祈ってくれました。その中で、アガペこそ希望だ。私たちには希望がある、とおっしゃってくれました。中国で父親を日本軍に殺されている台湾の方は、「アガペは中国へ行かなければならない。中国で和解の活動ができるようにできるだけの協力をしたい、とおっしゃってくれました。そこに集まってくださった多くの方が韓国と台湾の方に自発的に謝りました。おかげさまでとてもよい集いでした。感謝と祈りを込めて

北ドイツJCFはFredrich kiyoko姉から

本当に心より感謝いたします。みなさん、お疲れでしょうが、体調を崩す方ができませんよう、また、大いなる主の祝福をお祈りいたします。在主

また、お会いするまで、

